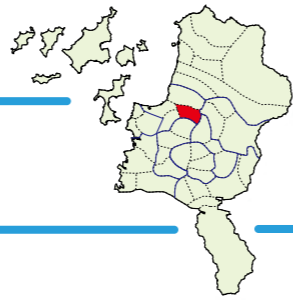


しおみ 潮見地区

人口:9,998人(高齢化率29.0%)
世帯数:4,809世帯

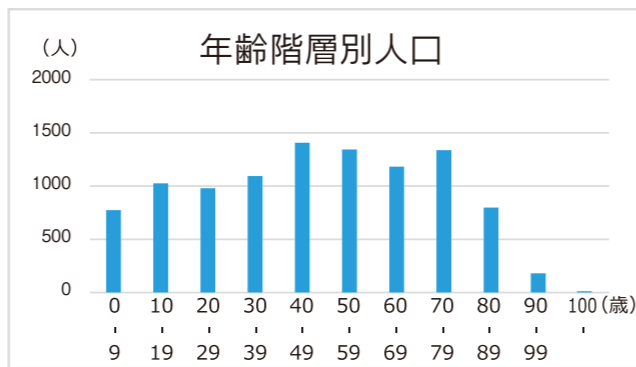


【地区の特色】

「潮見」という地名は、その昔、この地方が台風かあるいは大地震のような天災に見舞われ、大津波がこの辺りまで押し寄せ、村人たちは山に駆け登って難を逃れ、日夜潮の動静を窺ったことに由来しているといわれており、地域には神社・仏閣・史跡など多く伝説や民話も数多く残っている。「潮見地区史跡八十八ヶ所巡り」として、冊子にまとめられ、住民が史跡巡りを楽しんでいる。また「宮内伊予柑」の原産地であり、柑橘栽培の立地条件にも大変恵まれていて、昭和40年頃より全国に誇れる特産品の地場産業として大きな役割を果たしている。



宮内いよかん



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・古い地域への新しい世代の参加がスムーズ ・自然が豊か、大川沿いには野鳥が多い ・高齢者の年齢が松山市平均と同じくらいである ・伝統文化の継承ができています ・生活関連施設に恵まれている ・学区の人气が高く他地域からの転入も多い ・自転車で移動可能な範囲が広い ・県営、市営住宅がある ・学社融合(小、中、公民館) ・もちつきなど世代間交流の行事がある ・全地区にまたがりサロン活動(14サロン)が活発である ・地域福祉活動(協力会員)の体制が整っている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に若者の参加が少ない ・地域組織の役員になり手が少ない ・勤労世代間の交流が少ない ・一部交通の不便な地域、街灯の少ない危険な地域がある ・下水道不整備などところがある ・川の近くに災害時避難所がある ・大雨時に浸水や、土砂崩れの恐れがある危険地域がある ・農家が減ってきている
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事への参加が限られた人になりがちである ・県営、市営団地内の情報把握が難しいことがある ・独居高齢者の増加傾向 ・高齢者の見守りや在宅医療の支援が困難 ・空き家問題増加傾向(独居の方が子どもさんとの同居で地区を離れる等)

潮見地区社会福祉協議会

しんせつで おもいやりある みんなの潮見

構成団体	地区民協・公民館・支所・議員・まちづくり協議会・高齢クラブ連合会・小、中学校 PTA・町内会・地域連絡会・交通安全協会・日赤奉仕団・自主防災連合会・福祉団体
------	---

主な取り組み	活動内容
高齢者が楽しめる場づくり(各種大会)	地域の高齢者の方の楽しみの場づくりを目的に、毎年1回ずつ潮見小学校グラウンドなどを活用し、グラウンドゴルフ・ペタンク・ゲートボール大会等を主催しています。
世代間交流会	高齢者、小・中学生との交流を促進することを目的に、もちつき・ゲーム・うどん昼食などのイベントを開催しています。
配食サービス	一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に日赤奉仕団の方々と連携して、手作りのちらし寿司の配布を民生児童委員が行っています。

福祉のつどい

地区内に暮らしている独居高齢者を対象とした「福祉のつどい」を公民館で開催しています。マジックやミニコンサート、ゲームなど会場全体が楽しめる内容となっております。参加できない高齢者にも、広くサービスが行き渡るようお弁当を届けています。



<地区社協が目指すもの>

潮見地区では令和2年度に地域福祉活動計画を作成し、①地区社協の基盤整備 ②福祉学習とボランティア ③在宅福祉 ④関係団体との協働を基本に、住民の方々の主体的参加による活動を進めております。

目標テーマの「しんせつでおもいやりあるみんなの潮見」を目指し、地域における人と人とのつながりを大切に、互いに笑顔で声かけあい、助け合いの心あふれる、住みよい潮見地区となるよう、より一層の協力・支え合いに取り組んでまいります。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	20名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ ■子ども会	8団体 5クラブ 15団体
	■まち協の設立	平成24年度	■自主防災組織	20組織

地区名も含め地域内にある史跡や伝統文化など多様な角度から歴史に触れることのできる特色のある歴史的文化遺産が多い地区です。独居高齢者を対象とした福祉のつどいのほか、配食サービスや小中学生との交流の場や潮見小学校のグラウンドを活用したスポーツの大会など、高齢者が社会参加をする場が多様な形で設けられていることも特徴として挙げられます。特にイベントに参加できない高齢者にもお弁当を届けるなど、皆が住民として気遣い合える地区でもあります。転入者の増加に伴って、地域活動への若い世代の参入が減少していることから、地区の宝である人のつながりを若い世代にも引き継いでさらに活発化していくことが、未来の住民に残す大きな資産となるでしょう。

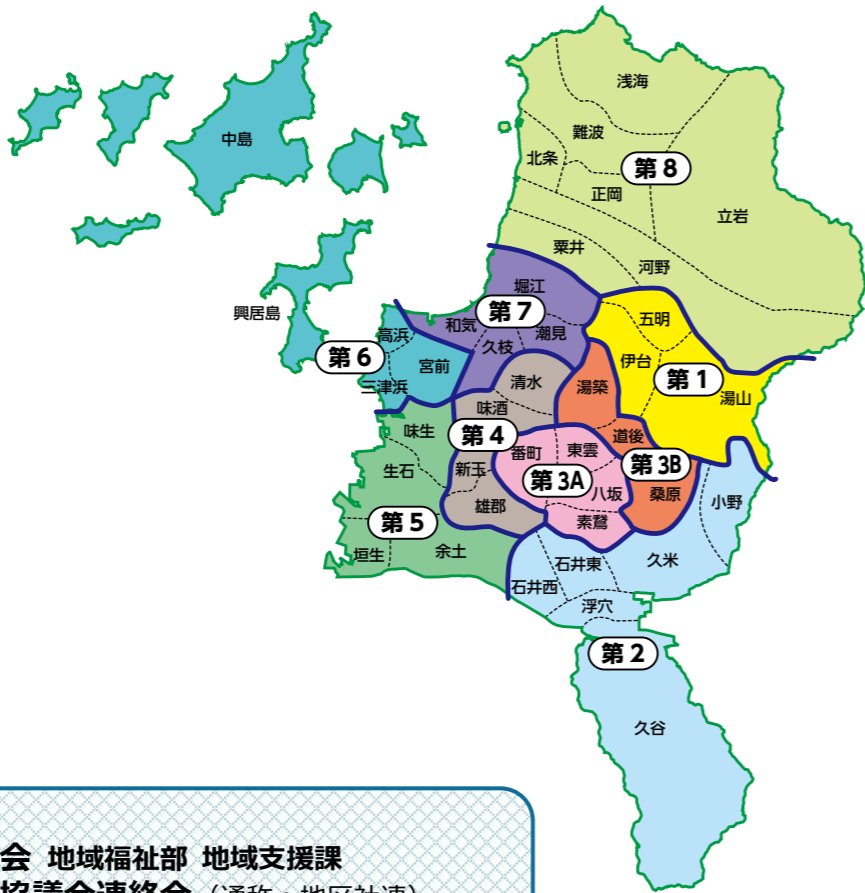


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
第3 B	道後地区	第4	味酒地区	第5	味酒地区
	湯築地区		桑原地区		桑原地区
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第6	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
第5	余土地地区	第6	垣生地区	第7	垣生地区
	垣生地区		生石地区		生石地区
	生石地区		味生地区		味生地区



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区的域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

①地区の概要

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に誇りを持っている。また、五明太郎などの「五明太郎」が自然発生の「五明川が流れており、清流に憩っている。

人口：426人(高齢化率48.8%)
世帯数：225世帯

②地域住民からみた地域の状況

高齢者が多く、この地域が抱えている課題は、一人暮らしの世帯が増えていること、移動手段が乏しいこと、車での移動が困難なこと、通学時間が長く20～30分で市内中心部へ行くこと、自然が豊かで季節を感じることができること、食へのこだわりが強いこと、自主防災組織と連携し災害時の避難の仕組みを作っていること、集会所が利用できること、地域団体との連携が図れていること、田舎暮らしなど地域の子どもの交流。

③地区社協の概要と取り組み

五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き

【地区社協の概要】
 五明地区社会福祉協議会 人が好き 自然が好き 五明が大好き

④地区内関係団体データ

地区民協、まち協の設立、町内会等、高齢クラブ、子ども会、自主防災組織

⑤地域福祉推進のポイント

聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

- ①地区の概要**
 - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
 - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
 - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）
- ⑤地域福祉推進のポイント**
 - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏